

鉢呂経済産業大臣に期待！！脱原発市民ネットワークが花束と要望提出

9月6日、eシフト（脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会）は、鉢呂吉雄氏の経済産業大臣の就任を歓迎し、衆議院第二議員会館を訪問して花束と要望書を手渡しました。

鉢呂氏は、北海道出身で自然エネルギー促進議員連盟にも参加し、8月26日に成立した「再生可能エネルギー促進法」（電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法）にも6月から賛同を表明していたことから、福島原発事故をふまえた日本の原子力政策・エネルギー政策の転換に大いに尽力いただけるものと、私たちは期待しています。また鉢呂氏は、就任後の記者会見等においても、

- ・ 将来的には脱原発を目指すべき
- ・ 原子力発電所の新規建設は行わない
- ・ 原子力発電所の再起動において、丁寧に地元の理解を得ていく
- ・ ストレステストの内容について、IAEAの再評価を受けるべきである
- ・ エネルギー基本計画の見直し議論に原子力批判派の参加も確保すべきである

などの発言をされており、これまでの原子力推進・継続・維持の方向と一線を画しています。

eシフト（脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会）はこうした鉢呂大臣の姿勢を評価し、今後の原子力・エネルギー政策において特に下記の3点を考慮いただきたく、添付の要望を提出しました。

1. 原子力発電所の再起動の議論において福島原発事故をふまえた検証を
2. 原子力政策の白紙見直しを
3. 新しいエネルギー政策実現に向けた道筋を

鉢呂氏の秘書からは、「環境は根本的な問題、ぜひ今後も意見をいただきながらやっていきたい」との真摯なコメントをいただきました。

－ 記 －

添付：鉢呂経済産業大臣あて「脱原発・新しいエネルギー政策実現に向けた要望」

以上

